




各 位

2026年5月14日

会 社 名  日本タンクステン株式会社
代表者名 取締役社長 中原 賢治
(コード番号 6998 東証スタンダード市場、福証)
問合せ先 取締役常務執行役員 原口 寿
経営管理本部長
(TEL 092-415-5500)

剰余金の配当等の決定に関する方針の変更に関するお知らせ

当社は、2026年5月14日開催の取締役会において、下記のとおり、剰余金の配当等の決定に関する方針（以下「配当方針」という。）を変更することを決議いたしましたので、お知らせいたします。
なお、変更後の配当方針は、2027年3月期の配当より適用いたします。

記

1. 変更理由

当社は、本日（2026年5月14日）公表しました、「日本タンクステングループ2028中期経営計画」の財務・資本戦略において、株主還元を含む中期的なキャッシュ・アロケーションを公表しております。配当方針については、安定的・継続的な配当を実施していくことを基本としておりますが、株主の皆様への当社の利益還元を高めるべく、その姿勢を明確にするため、本方針を変更いたします。なお、変更のポイントは次のとおりです。

配当性向	親会社株主に帰属する当期純利益の 30% とする目安を、 40% とする目安に引き上げ
年間の1株当たり配当金額の下限	年間の1株当たり配当金額の下限 50円 を、下限 60円 に引き上げ

2. 変更内容

（下線部は変更箇所を示します。）

（1）従来の配当方針

当社は株主の皆様への利益還元について、新製品開発を推進するための設備・人財・研究などへの戦略的投資、中長期的な企業財務体質の強化等を総合的に勘案しつつ、原則として、年間の1株あたり配当額50円を下限として、親会社株主に帰属する当期純利益の30%を目安とした安定的・継続的な配当を実施するよう努めます。

また、1株当たりの株主価値を向上させるとともに、資本効率の向上を図るため、適宜自己株式の取得に努めます。

なお、著しい経営環境の変化などの特殊要因により、親会社株主に帰属する当期純利益が大きく変動する場合は、配当金の見直しを検討するものとします。

（2）変更後の配当方針

当社は株主の皆様への利益還元について、新製品開発を推進するための設備・人財・研究などへの戦略的投資、中長期的な企業財務体質の強化等を総合的に勘案しつつ、原則として、年

間の1株あたり配当額60円を下限として、親会社株主に帰属する当期純利益の40%を目安とした安定的・継続的な配当を実施するよう努めます。

また、1株当たりの株主価値を向上させるとともに、資本効率の向上を図るため、適宜自己株式の取得に努めます。

なお、著しい経営環境の変化などの特殊要因により、親会社株主に帰属する当期純利益が大きく変動する場合は、配当金の見直しを検討するものとします。

以 上